

令和5年度 学校評価（総括評価表）

徳島県立鴨島支援学校 No.1

重点課題	重点目標	自己評価			総合評価	学校関係者評価 今後の改善方策
<p>◆児童生徒一人一人を大切にし、その個性や能力に応じて自己実現をめざす個別最適な教育の推進</p>	<p><中・高等部> ・生徒一人一人に適切な支援を実施するために、共通理解を図る。</p>	<p>評価指標 ・生徒の実態や支援方法を情報共有するための学部全体のケース会以外に、生徒一人一人についての情報交換会を年2回実施する。</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>評定</p>	<p>(所見)</p>	
		<p>活動計画 ・前後期の中間期で1回ずつ、各々4日間設定（学級・HRごとに日を分ける）実施する。 ・各生徒について、担任及び教科担任が参加する。 ・病棟訪問生、在宅訪問生は全員で情報を共有する。 ・ディスカッション方式で、課題の共有や支援方法の再確認、今後の方向性について意見交換をしていく。 ・共通理解できたことを指導に生かし、次の会で報告する。</p>	<p>活動計画の実施状況</p>			

重点課題	重点目標	自己評価			総合評価	学校関係者評価 今後の改善方策
<p>◆安心安全な教育環境の整備と危機管理の推進</p>	<p><小学部> ・安心安全な学校生活を送ることができるよう、災害時および緊急時に備え、環境や防災グッズの整備、教員の対応などの体制を整える。</p>	<p>評価指標</p> <p>①教員が整えた災害時や緊急時の対応について学部に周知することができる。</p> <p>②災害時や緊急時を想定した検討会や演習を年間3回以上実施することができる。</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>評定</p>	<p>(所見)</p>	
	<p>活動計画</p> <p>①-1保護者や関係機関を含め、連携・相談し災害時や緊急時に速やかに対応できるよう、環境や避難グッズ、対応のあり方(マニュアル)を整える。</p> <p>①-2災害時や緊急時の対応について学部会を通して学部の教員で共通理解する。</p> <p>②学部で災害時や緊急時を想定したことについて検討会や演習を行う。</p>	<p>活動計画の実施状況</p>				
<p><特別活動課> ・安全教育を通して、災害時や不審者侵入時における児童生徒の主体的な安全確保の能力向上を進めるとともに、教員の危機管理能力を高める。</p>	<p>評価指標</p> <p>①警察と連携し、緊急通報システムを活用しての不審者対応訓練を年間1回実施する。</p> <p>②年間3回の避難訓練の実施と年間2回の防災学習を実施する。</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>評定</p>	<p>(所見)</p>		
<p>活動計画</p> <p>①緊急通報システムを使用した不審者侵入時の対応訓練をする。</p> <p>②-1 近隣病院と連携した避難訓練やその他の避難訓練等を年間3回行う。</p> <p>②-2 災害時を想定し、発電機を使用して炊き出しをしたり、医療的ケアの機器やその他の機器類の動作確認をしたりする防災学習を行う。</p>	<p>活動計画の実施状況</p>					

重点課題	重点目標	自己評価			総合評価 (所見)	学校関係者評価 今後の改善方策
◆研修の充実と教員の専門性の向上	<p><教務課> ・学校支援システムによる指導要録作成に係るマニュアルについて、入力した文字列の具体的な調整方法に関する内容を更新し、スムーズに指導要録の作成が行えるようにする。</p>	<p>評価指標 ・9月末を目途にマニュアルを更新して、10月の職員会議で周知することができる。</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>評定</p>	(所見)	
		<p>活動計画 ・1学期中にマニュアルの更新案を作成し、9月の課会で検討・最終調整をして完成させる。</p>	<p>活動計画の実施状況</p>			
	<p><研究課> ①外部講師からの指導助言を受ける機会を設けたり、校内での研修を充実することで自立活動や教科学習等の指導における知識技能の向上を図り、教員の専門性を高める。 ②身の回りにおける様々な人権に関する問題について気づき、考え、教職員の人権意識を高める。</p>	<p>評価指標 ①外部講師を招聘して自立活動や教科学習等に必要の助言を受け、個別の指導計画に反映するため、研修会を年間5回程度実施する。 ②教職員全員が人権意識を高めることができるよう、長期休業中に人権教育に関する掲示等を行う。</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>評定</p>	(所見)	
		<p>活動計画 ①-1 理学療法士や作業療法士、言語聴覚士等を招聘し、自立活動や各教科の指導、またICT機器による支援等に関する研修会を実施する。 ①-2 オンラインでの校外研修会のうち、児童生徒の実態に応じた内容のものを取り上げ、ミニ研修会として実施する。 ②様々な人権問題に関する課題を取り上げた掲示を行い、教職員全員が自分の意見や考えを自由にメモに書き、貼付する。</p>	<p>活動計画の実施状況</p>			
	<p><情報視聴覚課> ①児童生徒のニーズに即したICT教材や支援機器を使用するために、教員のICT活用に関する指導力の向上を図る。 ②家庭・地域へと学校の活動を発信するために学校HPの更新頻度を高める。</p>	<p>評価指標 ①GIGAスクールサポーターを交え、ICT機器や支援機器等の活用に関する校内研修を年間10回以上実施する。 ②学校HPの更新を年間100回以上実施する。</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>評定</p>	(所見)	
		<p>活動計画 ①ICT機器や支援機器等の活用に関する内容についての校内研修を実施する。 ②多くの教員が学校ホームページの作成に関わることができるよう、学校ホームページの更新についての研修や紹介を行う。</p>	<p>活動計画の実施状況</p>			

重点課題	重点目標	自己評価			総合評価	学校関係者評価 今後の改善方策
◆保護者・地域及び関係機関との連携や協働による持続可能な学校づくり	<全学部> ・地域の人と協働し、放置竹林の竹水等を活用した石けんの香り袋を製作し、それを配ることでさらに地域との交流を深める。	評価指標 ・放置竹林再生の活動をしている地域の人々の支援を受けて、全校で協力して竹水石けんの香り袋を製作し、交流校や地域の人に配ることができる。	評価指標による達成度	評定	(所見)	
		活動計画 ・製作チームを発足し、児童生徒のできることを最大限に活かし、全校で役割分担して竹水石けんの香り袋の製作に取り組む。 ・作った香り袋を吉野川市役所や藤井寺に置いたり、交流校に配ったりすることを通して地域とのつながりを深める。	活動計画の実施状況			
	<特別支援教育課> ・特別支援教育巡回相談員活動等を通して、本校のセンター的機能を発揮する。	評価指標 ①地域の学校等の教職員を対象に、自立活動の授業づくりの参考となる講演会を年1回実施する。 ②特別支援教育に関する理解啓発として、学校ホームページ（地域支援）に「かも先生の特別支援教育だより」を前期後期1回ずつ掲載する。	評価指標による達成度	評定	(所見)	
		活動計画 ①昨年度のアンケートを基に講師先生に講演内容をお願いし、講演会後のアンケートで参考になったという意見を過半数以上得る。 ②「かも先生の特別支援教育だより」に、地域での相談によくあがる事例のQ&Aを掲載する。	活動計画の実施状況			

※竹水石けんの取組につきましては、学校運営協議会で様々なご意見をいただき、ただいま重点目標や活動内容を検討しております。修正しましたら、再度ホームページに掲載いたします。